

## 教育研究上の目的

十文字学園女子大学は、建学の精神「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」に基づき、社会の要請に応じる学術の理論と応用を教育研究することによって、社会・文化の発展に貢献する人間性豊かな人材を育成することを目的とする。

## 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

十文字学園女子大学は、教育目標に定める人材を育成するため、その実現に向けて以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

1. 先人が築いてきた英知を継続的に自分のものとしていくことで、しなやかな感性とゆるぎない自己の礎を育み、生涯にわたって自己実現を成し遂げる力。
2. 他者を尊重し互いを認め合いながら、多様な人々と連携・協働して互恵的な関係を結ぶ力。
3. 社会における諸課題を捉え、専門的な知識・技能を活用しながら、持続可能な社会の実現に貢献する力。

## 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

十文字学園女子大学では、「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」の建学の精神に基づき、創立以来、強健な身体と確固たる精神を備え、豊かで実用的な知識をもって社会に役立つ有用な女性を育成することを教育の基本理念としている。

本学が目指すのは、

1. 基礎的な学修能力を養い、心身の充実を図りつつ、自立した女性として、問題を探求する力を身につけること。
2. 体系的・学際的な学修により培われた知識・技能・教養を女性の視点から地域や社会の中で生かす能力と態度を身につけること。
3. 社会生活に必要な知的・社会的コンピテンスを身につけるとともに、多様な人々の立場や意見を尊重しつつ、女性としての誇りをもち、よりよい社会の発展と文化の向上に貢献する姿勢を身につけること。

であり、これらの方針をもとに共通科目に関する教育課程には、10の科目区分、「ゼミナール」、「総合」、「人間」、「社会」、「保健体育」、「ICT・データサイエンス」、「外国語（基礎科目）」、「外国語目的別科目」、「日本語（非母語者向）」、「キャリア教育」を開設している。

そのための共通教育における教育課程に関する編成方針は以下のとおりである。また、各学科における専門科目に関する教育課程の編成方針は別に定める。

### ゼミナール

1. 文章や資料の意味や意図を理解するとともに、自分の考えを文章や図表などを活用してわかりやすく他者に伝えることができる。
2. 他者の意見に耳を傾けてその考え方を理解したり、話し合いを通して共感したりするとともに、自分の意見をまわりの人にわかりやすく伝えることができる。
3. 実社会や実生活を分析的に捉え、身の回りにある課題に気付くとともに、その解決に向けて必要となる情報や資料を収集し解決に向けた糸口を見つけることができる。

4. 実社会や実生活の中から課題を見出し、問いを立てて情報を収集し、整理・分析してまとめ・表現することができる。
5. 身のまわりの課題解決に向けて、グループやチームで協働的に取り組み、話し合いを通して考えをまとめ、表現することができる。
6. 実社会や実生活にある問題の背景を探り、手順を踏んで検討を重ね、解決に向けたアイデアを分かりやすく表現することができる。
7. 他者との関わり中で、主体的・協働的に取り組むとともに、自分の目標を明確にしながら積極的に問題解決に取り組むことができる。
8. 他者との関わり合いの中で、互いのよさや役割を意識しながら新たな価値の創造を目指して協働的に課題解決に取り組むことができる。
9. 他者と協働しながら解決策を検討するとともに、関係者の意見を取り入れながら更なる課題を見出し、その解決策を継続して探究していくことができる。

## 総合

1. 講義や講話を聞いて、自己の既有知識、概念と照合する中で、今までの先入観を壊すような学修をすることができる。
2. 講義や講話を聞いて、他者の既有知識、概念と照合する中で、今までの先入観を壊すような学修をすることができる。
3. 講義や講話を聞いて、問題意識をもち、疑問を持って学修する中で、今までの先入観を壊すような学修をすることができる。
4. 講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、自己内対話を行うなどし、適切なノートテイキングができる。
5. 講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、他者と対話したり、適切なノートテイキングができる。
6. 講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、疑問点を整理したりする中で、適切なノートテイキングができる。
7. 講義や講話に基づいて自ら選択した科目の重要性に気づいたり、そこでの知見を将来に生かそうとしている。
8. 講義や講話に基づいて自ら選択した科目の重要性に気づいたり、そこでの他者からの知見を将来に生かそうとしている。
9. 講義や講話に基づいて自ら選択した科目の重要性に気づいたり、芽ばえた疑問点を追究する中で得られた知見を将来に生かそうとしている。

## 人間

1. 資料を読解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。
2. さまざまな人の考え方を学びながら、自分にできることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。
3. 社会の実態を捉え、そこから問題を見つけるとともに、解決に向けて、多様な資料を活用しながら解決に向けた糸口を手に入れることができる。
4. 自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。
5. 他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その過程を仲間とともに省察し、チームとしての成果を発表することができる。
6. 現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。
7. 自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。
8. 他者との関わりの中で資料を収集し、その内容を仲間と一緒に分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追究課題を創造できる。
9. 捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。

## 社会

1. 資料を読解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。
2. さまざまな人の考え方を学びながら、自分にできることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。
3. 社会の実態を捉え、そこから問題を見つけるとともに、解決に向けて、多様な資料を活用しながら解決に向けた糸口を手に入れることができる。
4. 自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。
5. 他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その過程を仲間とともに省察し、チームとしての成果を発表することができる。
6. 現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。
7. 自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。
8. 他者との関わりの中で資料を収集し、その内容を仲間と一緒に分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追究課題を創造できる。
9. 捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。

## 保健体育

1. 資料等を読解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。
2. さまざまな人の考え方を学びながら、自分にできることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。
3. 社会の実態を捉え、そこから問題を見つけるとともに、解決に向けて、多様な資料等を活用しながら解決に向けた糸口を手に入れることができる。
4. 自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。
5. 他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その過程を仲間とともに省察し、チームとしての成果を発表することができる。
6. 現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。
7. 自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。
8. 他者との関わりの中で資料等を収集し、その内容を仲間と一緒に分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追究課題を創造できる。
9. 捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。

## ICT・データサイエンス

1. ICT機器の操作、ネットワークに関する基礎的な知識を理解している。
2. 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性を理解し、情報倫理を踏まえたICT活用について理解している。
3. データを収集、整理、分析する方法を身につけ、表現方法について理解し、さまざまな社会課題を解決していく力を備えている。
4. 情報技術を適切かつ効果的に活用する力を理解し、実際にICT機器の基本となる操作ができる。
5. 情報発信における責任、情報モラルについて理解し、情報発信手段の特性の理解及び、適切な手段の選択ができる。
6. 問題・課題の発見と解決に向けて意思決定する力を備えており、社会的な課題を解決することができる。

7. ネットワークサービス、コミュニケーション手段の特徴を理解し、それを生かしたICTを活用した情報発信や情報収集をすることができる。
8. 情報社会へ主体的に参画する態度を身につけ、自ら積極的に情報を収集し、発信することができる。
9. 社会における課題をICTを通して解決しようとするとともに、仲間とともに協力して課題の解決に向けた方策を検討したり、その成果を生かして、身近な課題を解決することができる。

#### 外国語（基礎科目）

1. 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解をさらに深めるとともに、文字・音声から得られる情報の内容を的確に把握・情報を整理することができる。
2. コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、その概要や要点・詳細・話し手や聞き手の意図などを的確に理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる。
3. 言語を通じて得た文化や社会的な課題について、複数の資料を収集・活用して、考察を深めることができる。
4. 文字・音声から得られる情報の内容を的確に把握・情報を整理し、その概要を文字・音声を使用し、わかりやすい形で表出できる。
5. コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら考えなどを形成し、伝え合うことができる。
6. 言語を通じて得た文化や社会における課題について、自らの意見をまとめ、表現することができる。
7. 日常的な話題や社会的な話題について資料を整理・分析し、その概要や自分の意見を論理的に表出したり、他者の意見との違いについて考察を深めることができる。
8. コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、他者の考えを聞いたり、読んだりし、多様な意見を踏まえたうえで考察を深めることができる。
9. 言語を通じて得た文化や社会的な課題について、複数の資料を収集・活用して、考察を深め、仲間とともに課題を追究することができる。

#### 外国語目的別科目

1. 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解をさらに深めるとともに、文字・音声から得られる情報の内容を的確に把握・情報を整理することができる。
2. コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、その概要や要点・詳細・話し手や聞き手の意図などを的確に理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる。
3. 言語を通じて得た文化や社会的な課題について、複数の資料を収集・活用して、考察を深めることができる。
4. 文字・音声から得られる情報の内容を的確に把握・情報を整理し、その概要を文字・音声を使用し、わかりやすい形で表出できる。
5. コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら考えなどを形成し、伝え合うことができる。
6. 言語を通じて得た文化や社会における課題について、自らの意見をまとめ、表現することができる。
7. 日常的な話題や社会的な話題について資料を整理・分析し、その概要や自分の意見を論理的に表出したり、他者の意見との違いについて考察を深めることができる。
8. コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、他者の考えを聞いたり、読んだりし、多様な意見を踏まえたうえで考察を深めることができる。
9. 言語を通じて得た文化や社会的な課題について、複数の資料を収集・活用して、考察を深め、仲間とともに課題を追究することができる。

#### 日本語（非母語者向）

1. 資料を読解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。

2. さまざまな人の考え方を学びながら、自分にできることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。
3. 社会の実態を捉え、そこから問題を見つけるとともに、多様な資料を活用しながら解決に向けた糸口を手に入れることができる。
4. 自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。
5. 他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その過程を仲間とともに省察し、チームとしての成果を発表することができる。
6. 現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。
7. 自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。
8. 他者との関わりの中で資料を収集し、その内容を仲間と一緒に分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追究課題を創造できる。
9. 捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。

#### キャリア教育

1. 資料を読解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。
2. さまざまな人の考え方を学びながら、自分にできることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。
3. 社会の実態を捉え、そこから問題を見つけるとともに、解決に向けて、多様な資料を活用しながら解決に向けた糸口を手に入れることができる。
4. 自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。
5. 他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その過程を仲間とともに省察し、チームとしての成果を発表することができる。
6. 現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。
7. 自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。
8. 他者との関わりの中で資料を収集し、その内容を仲間と一緒に分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追究課題を創造できる。
9. 捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。

---

### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

---

十文字学園女子大学では、建学の精神である「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」に賛同し、かつ次の項目に該当する学生を求める。受験生の特徴がより発揮されることを目指して、さまざまな入試種別を用意する。

1. 自分らしい生きがいを実現するため、大学での学びの基本となる、高校までの教科に関する基礎的な知識と技能を身につけ、自らの人生を主体的に考えていること。
2. 他者と協働しつつ、人への理解を深め寄り添う気持ちがあること。
3. これからの社会における女性の生き方を積極的に考え、豊かな社会・地域や人間生活の実現を目指そうとする意欲があること。